新入生のみなさんを歓迎して

京都大学総長　尾　池　和　夫

京都大学の新入学生のみなさん，入学おめでとうございます。

この入学の日を目ざして，長いあいだ受験勉強に励んできたみなさんは，今，目ざすキャンパスの中に実際に立ってみて，この京都大学へ進学した喜びを，じっと味わっていることでしょう。これまでの受験勉強の疲れを忘れて，さっそく京都大学での学習に，全力をかたむけて，とりかかることにしましょう。この大学での出発点をどのように踏み切って，どのような目標に向かって走り始めるかが，みなさん一人ひとりの長い人生の道を決めることにつながっていくことでしょう。

たとえば科学の発展を，みなさんは，わくわくしながら小学生のとき見たことがあるでしょう。大人になるころ身の回りでロボットが活躍したり，宇宙旅行が普通にできると信じていた人もいるでしょう。しかし実際は，なかなか実現はしないものです。大学で学習し研究するのは，自分が参加して，そのような夢に一歩近づくことを意味しています。自ら参加して近づく夢を，もういちど大切にして見つめ直してみてください。大学に入ってよく見ると，今までは触れることのなかった多くの学問分野があることに気がつきます。その機会を作るために共通教育のカリキュラムがあり，また多くの先輩との出会いがあるのです。そのような出会いを大切にして，自らの進む道をしっかりと見つけ出してください。

大学での学習の最初は，よく見ることから始めてみてはどうでしょうか。初めて京都に住むことになった方も，京都で育った方も，自分の持っている知識をもとに，もういちど京都大学のまわりをよく観察してみましょう。たとえば，本部のある吉田キャンパスのすぐ東にある吉田山に登れば，この山はどのようにして高くなったのか，眼下の盆地の地下はどのような構造で，その生い立ちはどのような歴史を持っているのかというような疑問を持つと，その答えを求めて総合博物館の展示を，よく見てみましょう。また，あるいは吉田神社の神官の家系であった兼好は，いつどこで「徒然草」を書いたのか，というような疑問に答えを求めながら，キャンパスの周辺をゆっくりと歩いてみたり，図書館で書物を広げてみてはいかがでしょうか。たくさんの問いを自ら用意しつつ，それら一つひとつの答えを，はっきり認識して，その内容

を語れるように学習を深めましょう。そして未知のことがらを研究課題にして，その解明に向かって研究を続けてください。

大学での学習や研究をするためには，まず大学生としての生活の基盤をかためることが大切です。健康で安全な生活が送れるよう生活の場を整えてください。心身を鍛えるに必要な糧をとり，つり合いのとれた感覚を持ち，立派な社会人として通用する人になって巣立って行くまで，この京都大学のキャンパスが，みなさんの活動の場となるよう，この学生便覧に一通り目を通して，その機能を活用しつつ，どんな大学生活を送るかを考えて下さい。

吉田キャンパスの近くには，世界遺産条約で認められた古都京都の文化財の中のいくつかがあります。また吉田山や百万遍知恩寺も，古都の歴史環境の維持を担っています。京都大学内にも本部正門をはじめ歴史的建築物があり，国の文化財である清風荘の庭園があります。京都大学の百年の歴史が，このような世界遺産をはじめとする古都の環境によって育成されてきたことを忘れてはなりません。京都は1200年にわたって，日本の文化や芸術の中心的な役割を担ってきました。長期間に築かれたこの伝統を受け継ぎ，その中から新しい文化の創造をはかることに，大学も積極的に貢献しなければなりません。それによって大学と地域社会との連帯が保たれ，そこに学ぶみなさんが，次の世代の学術や文化の発展を担う人材として育つことになるのです。

学生生活の実態調査をした結果によりますと，学部学生のうち半年間にアルバイトをした学生は 4 分の 3 以上に達しており，課外サークルに加入している学生は約 4 分の 3 です。徒歩での，あるいは自転車による通学者は 3 分の 2，京都市内の居住者は 4 分の 3 以上でした。つまり，学生生活の基本が，単に教室内で講義を受けることだけでなく，さまざまの面で社会に接することにより成り立っており，また大学の近くに居住することによって，効果的な学習や研究活動が成り立っていることを示すものと思われます。大学は，このような，学習のみならず課外サークル活動やアルバイトを可能とする環境を整備する努力を続けます。

学内には，団体，サークル，自治会など，参加することのできる多くの公認のグループがあります。グループの中に入って活動するのもよし，新しいグループを作るのもよし，個人で活動するのもよし，それぞれに充実した学生生活を送って下さい。いかに多くの知識を持っていても，いかにすぐれた判断ができても，その内容が情報として人と人との間に流通しなければ意味がありません。どのような学生生活を送るにしても，人と交流する方法をしっかりと身につけるよう，脳の中身だけでなく，その入出力インターフェイスを鍛えることも，心がけてほしいと思います。

問題が生じるたびに，この学生便覧を開いて参考にしてください。京都大学は，みなさんの学生生活のさまざまの面に役立つよう，学習環境を整備する仕事をしつつ，みなさんが大学生活を有意義にすごして進学し，あるいは就職し，社会に巣立っていくことを願っています。